第5回　すくわくプログラム

～音楽演劇表現活動～　　2026.8.26









「すくわくプログラム」は、すべての乳幼児の「伸びる・育つ（すくすく）」と「好奇心・探究心（わくわく）」を応援する幼保共通のプログラムです。幼稚園や保育所といった施設類型の垣根を越え、主体的・協働的な探究活動を通じ、子供の豊かな心の育ちをサポートし、非認知能力の育ちにも繋がっていきます。

4月よりスタートした『すくわくプログラム』。今回は5回目でした。
朝イチであさみ先生を見かけた子は「今日あさみ先生いたよ！」と久しぶりに会えたことを喜び、今日がすくわく教室の日だということが分かると、とても嬉しそうにしている姿が見られました♪
今日はせいじ先生という講師の方も一緒に来てくださり、パーカッションや『ジャンベ』という楽器、カホンや先生が自ら作ったサンゴやペットボトルの蓋を使った楽器などを見せてくれました。実際にどんな音が鳴るのかを披露してもらい、子どもたちも馴染みのある鳴子を持って一緒に『さんぽ』を演奏♪！身近な曲がいつもとは違う音楽に聞こえる不思議…。とても喜ぶ子どもたちの姿が見られました！
『はらぺこあおむし』の大型絵本を読んでもらった際には、情景に合わせて様々な楽器の音色が聞こえて来ました。音が鳴るたびに惹きつけられる子どもたち！とても集中して見入っていました。
最後にはひとりひとり気になった楽器を触らせてもらい、せいじ先生とタッチ！とっても貴重な経験になり、あっという間の1時間でした(^^)子どもたちにもどんなことをしたのか聞いてみて下さいね！